



2026年1月27日

新幹線車両の水タンク床下フサギ板が落失していた事象について

1月24日1時40分頃、東日本旅客鉄道株式会社新幹線総合車両センター構内において、当社が所有するH5系の10号車床下にある水タンクのフサギ板が付いていないことが判明しました。

ご利用のお客様には、ご不安な思いをおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

1. 発見日時 2026年1月24日（土）1時40分頃
2. 判明場所 東日本旅客鉄道株式会社 新幹線総合車両センター
(宮城県宮城郡利府町利府字新谷地脇)
3. 概況 1月23日20時59分頃、「はやぶさ36号」車掌から、床下から擦れるような音がした旨の申告が指令室にありました。連絡を受けて東日本旅客鉄道株式会社新幹線総合車両センター入区後に点検したところ、10号車床下にある水タンクのフサギ板が付いていないことを認めました。なお、当該のフサギ板については現在のところ見つかっておりません。また、お客様、乗務員にけがはありませんでした。
4. 関係列車 1月23日（金）新青森17時44分発 東京行き はやぶさ36号
(H5系10両編成 定員715名、乗車約680名)
5. 原因 調査中
6. 緊急対策 H5系について、床下フサギ板の取付状態の一斉点検を実施し、1月25日までに異常がないことを確認しました。

○ 編成図

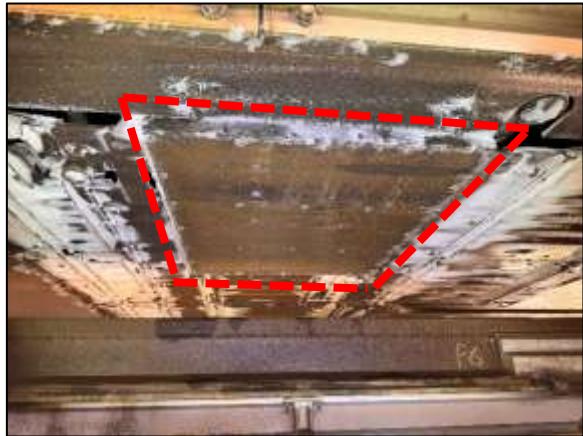
←東京方

新函館北斗方→



10号車

○ 正常時と発見時の状況



【正常な状態】
フサギ板が付いている
(約 58 cm × 73 cm、約 5 kg)



【発見時の状態】
フサギ板が付いていない
写真：JR 東日本提供